



地域づくり主張コンテスト 8 団体が出場



阿蘇市地域づくり団体協議会（志賀昭男会長）主催の第1回地域づくり情報交換会が2月28日、農村環境改善センターであり、その中で行なわれた「地域づくり主張コンテスト」に8団体（NPO法人ASO田園空間博物館、阿蘇内牧温泉女将の会「ゆうすげ会」、阿蘇市公民館坂梨分館、阿蘇北外輪山トレッキング協議会、榎木野区、中江神楽殿企画委員会、さかなし宿場會、内牧温泉Tomaっとベリーな街実行委員会）が出場しました。どの団体もアイデアに溢れた活動をされており発表者の地域づくりに懸ける熱い思いが会場を包み、た

くさんの拍手が送られました。

選考は会場の参加者による投票で行われ、その結果、地区に古くから伝わる盆踊りを約45年ぶりに復活させた榎木野区が最優秀賞に選ばれ賞金3万円を手に入れました。

当日は、一般参加で壮年以上が多かった中に、阿蘇市在住の大学生岩下健太さんが参加。「このような場をもっと増やして欲しい」と積極的な意見を述べてくれました。

受賞結果は次のとおりです。

最優秀賞：波野榎木野区

優秀賞：内牧温泉Tomaっとベリーな街実行委員会

優秀賞：NPO法人ASO田園空間博物館



▲見事優勝された「波野榎木野区」の皆さん

JRの景観賞に「阿蘇一の宮門前町会」輝く



▲表彰状を手に受賞を喜ばれる桑島会長（右）と役員宮川幸二さん

景観づくりに優れた団体に贈られるJR主催「南九州景観整美大賞」で『阿蘇一の宮門前町会』（桑島元博会長）が見事、2位にあたる奨励賞を受賞しました。

南九州景観整美大賞は、南九州の情報発信とブランド化を進める活動の一環として、JR九州が新たに創設した賞で、15件の応募の中から、大賞に鹿児島市の市電軌道敷緑化整備事業が選ばれ、続く奨励賞に、通り全体で統一看板の設置や植栽整備、水基めぐり、案内所設置などに取り組まれた「阿蘇一の宮門前町会」が選ばれました。

表彰式は3月17日、JR九州本社（福岡市）で行われJR九州の石原社長より桑島会長に表彰状が贈られました。石原社長は「地元の熱意が景観づくりにつながっている」と今後にも大いに期待されました。

※なお、「阿蘇一の宮門前町会」は昨年10月、『肥後の水とみどりの愛護賞』にも輝いています。

